

東海村発足60周年記念スペシャル!

イモゾーフアミリーと振り返る 東海村60年のあゆみ

昭和57年 (1982年)	昭和56年 (1981年)	昭和55年 (1980年)	【主な出来事(昭和55～59年)】
4月 ○東海村女声合唱団設立	4月 ○舟石川小学校開校	12月 ▽住友金属鉱山エネルギー・環境事業部東海試験所設立	1月 ▽原子燃料工業株式会社東海製造所操業開始
3月 ▼「東海村第2次総合計画」策定	3月 ▼東海村食生活改善大会開催	11月 ○「東海音頭」発表。都はるみさんの歌でレコードに	2月 ▼阿漕ヶ浦公園管理棟完成
1月 ○青年の家を東海村中央公民館と改称	2月 ▼東海村合併25周年記念式典開催	10月 ○スリランカ、タイ、ペルー、インドネシア、マレーシアなどから視察団来村。白方小学校や役場を視察	4月 ▼都市計画道路「船場―寺掘線」の一部開通
12月 ○「広報とうかい」縮刷版発行	1月 ○青少年育成村民会議発足	6月 ▼老人福祉センター「みどり荘」に工房完成	2月 ▼久慈川河川敷運動場完成
11月 ▽原子力防災訓練実施	2月 ○手甲を付けた男子追輪、三輪玉付き直刀を村の文化財に指定	4月 ▼都市計画道路「船場―寺掘線」の一部開通	1月 ○村内の地籍調査スタート
10月 ○「東海村の今昔」発行	3月 ▼東海村食生活改善大会開催	3月 ▼東海村合併25周年記念式典開催	
7月 ▼米国アイダホフォールズ市と国際親善姉妹都市の調印	4月 ○舟石川1区にある富士神社の神輿が50数年ぶりに復活	12月 ▼入浴困難な方のため「巡回移動入浴車」サービス開始	
	○「広報とうかい」創刊から300号		
	○村松小学校跡地に「愛校の碑」除幕		



▲ 県営ほ場改良の水田(昭和56年)

▼ 村松小学校跡地に作られた「愛校の碑」(昭和56年)



▲ 東海村合併25周年記念式典(昭和55年)



▲ 国際親善姉妹都市の調印式(昭和56年)
▶ 「東海音頭」発表(昭和55年)



あのころの…
「広報とうかい」
こんな記事(一部抜粋)

■ みなさんさようなら 石神小で別れ会を開く(第298号/昭和56年3月20日発行)

「わたしたちは、みなさんとおわれしなればなりません。みなさんと力いっぱいがんばった日々、決して忘れません。石神小学校に残るみなさん、この伝統ある石神小をはこりにして、今まで以上の立派な学校にしてください。わたしたちも新しい学校の校風と伝統をつくり上げます。みなさんさようなら——」これは、3月11日に石神小学校で行われた、お別れ会のよびかけの言葉の一節です。石神小学校は現在約8500人の児童がいますが、4月からは約4500人の児童が、新設される舟石川小学校へ通学するようになります。そこで学校で何か記念に残る行事をしようということになり…行なわれたものです。

■ アイダホフォールズ市と7月4日に調印式 姉妹都市の縁組(第304号/昭和56年6月20日発行)

昨年11月、アメリカのアイダホフォールズ市との姉妹都市締結が村議会で議決されましたが、この調印式がアメリカ独立記念日の7月4日に、同市で行われます。…姉妹都市締結の話が出たのは4年前。同市に



昭和59年 (1984年)	昭和58年 (1983年)	昭和57年 (1982年)
11月 ▽中曽根首相が原子力施設視察のため来村 ▽…暮らし○…教育・文化▽…原子力	11月 ○総合体育館トレーニング室オープン ○国際親善姉妹都市アイダホフォールズ市から親善使節団初来村	4月 ▽国保診療所が村立東海病院となる ○東海村少年少女合唱団設立
7月 ○アイダホフォールズ市から交換学生来村	9月 ○東海村総合体育館開館	5月 ○東海村姉妹都市友好協会発足
6月 ○石神幼稚園幼年消防クラブ結成	7月 ○東海村保健センター完成	6月 ○東海レスキュー隊誕生
5月 ○東海村科学万博を成功させる会発足	6月 ○舟石川幼稚園幼年消防クラブ結成	7月 ▽川崎義彦・元村長、電源立地促進功労者として内閣総理大臣賞を受ける
4月 ▽シルバー人材センター始動	5月 ○如意輪寺の常緑照葉樹(スタジイとタブノキ)、願船寺のイチヨウ、住吉神社のサカキを、村の文化財に指定	8月 ○村民会館で村内初の能・狂言の舞台開催
3月 ○土偶、武人道輪など6件を村文化財に指定	5月 ▽舟石川幼稚園幼年消防クラブ結成	9月 ▽英国マーガレット・サッチャー首相来村(原電東海発電所視察)
2月 ▽流域11市町村と8つの住民組織が参加して久慈川水系環境浄化保全協議会結成	6月 ▽東海村保健センター完成	12月 ▽東海村総合体育館開館
1月 ▽公共下水道(流域関連)事業建設工事着手	7月 ○原研長堀住宅北側で登り窯跡発見、馬頭根遺跡と命名	4月 ▽結核対策推進優良市町村表彰式で全国表彰を受ける



▽アイダホフォールズ市から交換学生が来村(昭和59年)

▶「東海村スイミングプラザ」オープン(昭和59年)
▶舟石川幼稚園幼年消防クラブ結成(昭和58年)

▼馬頭根遺跡発掘(昭和58年)

▲英国マーガレット・サッチャー首相来村(昭和57年)

▲東海村総合体育館開館(昭和57年)

▲中曽根首相来村(昭和59年)

あるアイダホ国立工学研究所(INEL)と原研東海研究所との間で、原子力の安全性研究の面で研究者の交流が盛んになり、これを知った同市在住の日系アメリカ人の中から姉妹都市締結の話が持ち上がりました。53年10月には、同市のキャンベル市長から川崎村長あてに東海村と姉妹都市の縁組みをしたいとの親書が届きました。村で：検討したところ、どちらも農業と原子力を基盤とし、人口規模も同じくらいであることから、姉妹都市として交流を深め、国際親善に役立てようと縁組みをきめました。

■**白方小の過密化を解消(第307号/昭和56年8月5日発行)**
新設の村松小学校は、白方小学校の過密解消をはかるため、来年4月の開校をめざして：建設されるものです。校舎は：普通教室16、特別教室6、管理諸室9からなり、工事費は5億5600万円です。開校時の学級数は、14学級で、児童数527人(56年5月の推計)となります。

■**夏休みの宿題すんだかな(第308号/昭和56年8月20日発行)**
もうすぐ夏休みも終わり。お子さんたちの夏休みの宿題、自由研究はすんだでしょうか。係では、お子さんたちの宿題、研究の資料となるよう、人口の移り変わりや第一次産業、第二次産業別就業人口の移り変わりその他を掲載してみました。参考にしてください。